

令和1年度 事業報告書

高齢者福祉は地域包括ケアシステムの推進に向けて、地域の重度要介護者や認知症高齢者の受け入れ、医療や終末期支援(看取り)の強化など、多職種からなるチームケアにより専門性の高いケアの実践に取り組みました。また、地域において支援が必要な方を横断的(医療、福祉、保健、住民等)に支える地域共生社会の実現と、地域が抱える課題の把握とソーシャルワークの実践による公益的取り組みの促進を行いました。

私たちは法人理念「笑顔の創造 心と心意気」のもと「地域福祉の拠点」となり①その有する資源やノウハウを最大限活用 ②在宅サービスの提供 ③地域の要介護者等を支援 ④地域活性化を支援 ⑤地域包括支援センターと密接に連携により、最良の介護サービスを継続して提供できる体制整備に取り組みました。

1 中期経営計画書(平成29年度～平成31年度)の重点取り組み事項

1. 社会福祉法人制度改革(社会福祉法改正)の趣旨に基づいた法人経営を実践。
2. ご入居者の人権と尊厳を守るため、身体拘束廃止に向けての取り組みを引き続き強化。
3. 介護職員等の採用活動を強化。(コスモスのリクルートチームを結成)
4. 働きがいがあり、魅力ある職場づくり。(職員満足度の向上による顧客満足度の向上)
5. 非常災害時における防災体制を整備・強化。(ご利用者、職員の安全の確保)

2 適正に事業を運営する

1. 介護老人福祉施設+短期入所 合計稼働率 96.5%(目標 98% 前年比+1.4%)
2. 介護老人福祉施設 ①稼働率 95.0%(目標 97.5% 前年比+1.4%) ②平均介護度 3.96(+0.12)
③新入居者 23名(男性3名 女性 20名) 自宅 20名(内ショートステイ 13名) 医療機関4名
④退居者 28名(男性 4名 女性 24名) 看取り 15名(+2名) 医療機関9名 自主退居3名
⑤介護度別 介護2 3名(0) 介護3 21名(Δ5) 介護4 27名(Δ2) 介護5 28名(+8)
⑥出身地 福井市 65名(+2) 鯖江市 5名(Δ2) 越前市 5名(+2) 大野市 1名(0)
池田町 2名(+1名) 南越前町 1名(0)
3. ショートステイ ①稼働率 101.2%(目標 100% Δ0.2%) ②平均介護度 2.43(Δ0.15)
4. デイサービスセンター ①稼働率 48.4%(目標 80% Δ7.0%) ②平均介護度 2.12(+0.08)
③登録者数 43名(前年比+4名) 内訳 要介護者 31名 要支援者 12名
④地区別利用者 文殊地区 22名(+5) 上文殊8名(Δ1) 酒生1名(0) 麻生津11名(+2) 市内1人(0)
5. 居宅介護支援事業所 ①登録者 要介護者48名(前年比Δ8名) ②要支援者13名(+2)

3 管理部門

1. 社会福祉法人制度改革の趣旨に基づいた公益性・非営利性の高い法人経営の実践に取り組む。
 - 1) 事業運営の透明性向上、財務規律の強化等を行う。(1)現況報告書、決算書の情報を公開。
 - 2) 地域社会において、福祉サービスの担い手である社会福祉法人の信頼度の向上に取り組む。
 - (1)ショッピングセンターでのサロン事業(よろず相談)に職員派遣(福井市社会福祉協議会と連携)。計4回
 - (2)「福祉のしごと訪問説明会(出前授業)」職員派遣(福井県社会福祉協議会)。森田小学校4年生児童
2. 地域交流センターを地域交流の場として、また、災害時の福祉避難所としての機能に努めた。
 - 1) 地域交流センターの使用。(1)介護予防教室の開催。(2)ボランティア活動者の受入れ。
 - 2) 自然災害時に要介護者の受入れ。(1)台風接近時に防災委員会開催、福井市と連携した。
3. 働きがいがあり、魅力ある職場づくりに努める。
 - 1) 働き方改革。(1)有給休暇の計画的付与と取得の推進。(2)正職員とパート職員の不合理な格差の是正。
 - 2) 職員の健康の維持・増進のために負担の少ない介護技術の研究に取り組む。
 - (1) 介護技術・機器の研究、労働環境の改善。
 - ①ICT関連 パソコン・サーバー入替(window10)、介護記録ソフト・タブレットを導入。
 - ②研修会関係 腰痛予防研修会(内部)、コンプライアンス委員会(内部)、東海北陸福祉施設研究大会(10名派遣)、自衛消防操作法大会に出場(福井市消防局)等。
 - ③その他 調理室床工事(塗装)、災害対策マニュアル策定、防災訓練(煙体験、消火器訓練)等。
 - (2) 産業医と連携し、健康増進・メンタルヘルス(悩み、不安、不満)に配慮。
 - ①職員の健康 メンタルヘルス実施、インフルエンザ予防接種、腰痛予防体操、休憩室整備等。

②産業医との連携 健康相談(毎月)、施設内の巡回指導。

3)常に自己啓発し専門性の高い人財の育成と、人財の定着促進に取り組む。

(1)役割人事制度の推進。①職員満足度調査の実施 ②居宅支援主任・主任介護支援専門員を配置。

(2)職員の処遇改善。①介護職員等処遇改善特定加算(新)を支給。

(3)福利厚生。①補助 職員旅行、FBC マラソン(参加 10 名)、県老協協の催し、自販機設置等。

②表彰 勤続 10 年(8 名)、職員紹介(1 名)

(4)資格取得。①費用の助成 介護職員初任者研修(3 名)、介護実務者研修(1 名)

医療的ケア(吸引等)派遣 3 名(研修修了者 15 人)

②福祉資格取得 介護福祉士 36 名(割合 62%)、介護支援専門員 10 人

3. 新型コロナウイルス感染予防に取り組む。三原則を徹底「持ち込まない、持ち出さない、拡げない」

1)職員関係 ①物品購入(マスク、消毒用アルコール液、ビニール手袋等) ②健康観察等(検温、外出自粛等)

2)家族 ①面会制限(看取り者は除く) ②感染予防チラシ送付 ③一筆便送付(写真付)

3)特養・ショート ①外出制限 ②全体行事中止 ③館内の消毒(毎日) ④健康観察 ⑤ユニット行事の実施

4)デイサービス ①迎え時の健康観察(検温等) ②外出自粛依頼(不要不急等) ④消毒 ③感染予防チラシ配布

4. 法人のPRを積極的に発信する。

1)リクルートチームの活動を支援し、積極的に介護職員等採用活動を行う。

(1)新採用職員 中途採用2名(経験者1名、未経験者1名)

(2)介護福祉士養成奨学金支給制度を創設。(高校生、専門学校生等を対象に広報した)

(3)就職説明会の参加 ①ハローワーク(コスモを会場) ②介護労働安センター ③県福祉人材センター等

4 生活支援部門

1. 地域包括ケアシステムを推進するために地域包括支援センター等と連携。

1)連携の強化。(1)介護予防教室の開催(包括)。(2)連携実務者情報交換会にて発表(日赤病院)。

2)文殊地区関係 (1)敬老会に入居者が参加。(2)イベントに地域の高齢者を招待(コスモ祭り、演芸会等)。

2. ご入居者の人権と尊厳を守るため身体拘束廃止を強化。

1)研修の実施。身体拘束廃止 2 回、高齢者虐待等

2)身体拘束廃止の達成。(前年比△2 人)

3. 健康で豊かな生活の支援。

1)生活に潤いを与え、心身の健康増進。

(1)園芸療法 桜、チューリップ、越前水仙、バラ等を植樹(季節ごと観賞)。野菜の収穫体験等。

(2)音楽療法 音楽委員会による音楽の会、ユニットでのミニ音楽会を実施等。

(3)新鮮で安全な食材を提供。①トマト、ソーメンカボチャ等。②鮎の塩焼、サンマ焼、焼き芋会等。

2)介護サービスの充実・強化。

(1)中重度・認知症の要介護高齢者への対応。赤外線センサーの導入等。(転倒防止)

(2)入居者の自立支援、機能低下予防。理学療法士の配置。ユニット活動等の充実。

(3)看取り期の対応充実。入居時における看取り説明の充実等。(説明書作成)

(4)口腔ケアの充実。歯科医師による口腔指導等。

(5)栄養管理の充実。ユニット調理(調理員の出前調理)の実施等。

(6)褥瘡発生ゼロに努めた。年間褥瘡発生者 9 名(入院等で発生) →年度末 1 名(前年比+1 名)

4. 家族との関係強化。

1)懇談会の開催。料金の改定(消費税増税による)、意思確認書の説明(健康管理)等

2)交流会の実施。コスモ祭り、ユニット催し(忘年会等)、一筆便の送付(隔月)

3)ケアカンファレンスの開催。介護サービス計画の説明、看取り期のカンファレンス等

5. 地域福祉の推進。

1)ボランティアの支援。日赤奉仕団文殊分団(新聞たたみ等)、演芸団体等の受入れ。

2)地域機関との連携。文殊こども園(訪問による交流)、文殊小学校(物品貸出等)、足羽中学校・至民中学校(介護体験)、農協女性部(歳末運動)、東足羽地区民生委員の交流会

3)地域の環境向上に貢献。桜のライトアップ、コスモスロードの整備、バラ園の整備等。

4)介護資格養成機関の実習生受入れ。介護福祉士 2 名、介護実務者研修 2 名、初任者研修 4 名

【 生活支援部門 】

ユニット名 あじさい

1 研究活動【重点的に取り組むこと】

テーマ 『 重度の要介護者・看取りの方の対応 』

研究の理由 ① 重度・看取りの方が増えてきた為、充実した支援が出来るようにする。

活動の主な内容 ① 居室にばかりいるのではなく、張り合いのある生活を送って頂く。

(看取りの方も体調をみて離床の時間を作る)

② 日々の状態をしっかり観察し対応していく。

③ 家族様の要望を伺う為に、話し合いの場を設ける。

2 ご入居者の人権と尊厳を守るため、身体拘束廃止を強化する。 (全ユニット)

拘束者ゼロを継続する。

3 生活が潤い、心身の健康増進に取り組む。 ※取り組む項目を選択

1. 食事(調理含む)

1) ユニット調理で入居者様にも調理を手伝ってもらい、楽しく食事をして頂く。

2. 行事・外出等の取り組み

1) 季節に合った場所への外出や、入居者様の要望を聞き計画を立てる。

4 介護サービスの充実・強化によりケアマネジメントの推進に取り組む。 ※取り組む項目を選択

1. 中重度の要介護者の対応の充実に取り組む。

1) 散歩や行事の参加を促し、張り合いのある生活を送れるよう支援する。

2. 入居者の自立支援、機能低下予防に取り組む。

1) 出来る事は自分でして頂く。

指先を動かす作業や、歩行訓練を行い機能低下を予防する。

3. 口腔ケアに取り組む。

1) 一人一人に合った口腔ケアを実施し、口腔内の清潔を保つ。

2) 歯科衛生指導を受け、都度ケアの見直しをする。

4. 褥瘡発生ゼロに取り組む。

1) 皮膚の弱い方は特に注意して皮膚状態を観察し、表皮剥離など褥瘡に繋がらないよう未然に予防する。

2) クッションをしっかりと活用し、体交の実施を徹底する。

5. 介護事故ゼロ(リスクマネジメント)に取り組む

1) 防げる事故は未然に防ぎ、事故が起きてしまった場合は早急に対策を考える。

5 居住環境の改善・向上に取り組む。

1. ユニット内や居室の掃除をこまめに行い、過ごしやすい環境を作る。

6 高い専門性を有する人材の育成に取り組む。

1. OJT、内部研修

1) 職員一人一人に積極的な参加を促す。

2. 外部研修

1) 医療的ケア(50時間)の研修 認知症実践者研修 ユニットリーダー研修など
積極的に参加し専門性を高める。

7 家族との関係強化に取り組む。

1. イベントの参加

なかなか面会に来られない家族様にもイベント時には声掛けをする。

ユニット名 あやめ

1 研究活動【重点的に取り組むこと】

テーマ 『 認知症の方に対しての対応について 』

研究の理由 ① 入居時より認知機能の低下が見られる為

活動の主な内容 ①軽い体操、指先を使ったレクレーションを取り入れる。

②コミュニケーションを取り、不安なく過ごして頂けるよう取り組む。

2. ご入居者の人権と尊厳を守るため、身体拘束廃止を強化する。 (全ユニット)
身体拘束ゼロを継続できるように支援していく。
3. 生活が潤い、心身の健康増進に取り組む。 ※取り組む項目を選択
 1. 園芸
 - 1) ベランダで植物を育て、収穫までを入居者様と楽しむ。
(植物を育てることで、昔のことを思い出して頂く。)
 2. 食事(調理含む)
 - 1) ユニットで育て、収穫したものを使って入居者様と一緒に調理する。
 3. 行事・外出等の取り組み
 - 1) 入居者様の思いを傾聴し、外出先や、行事を考える。
4. 介護サービスの充実・強化によりケアマネジメントの推進に取り組む。 ※取り組む項目を選択
 1. 認知症高齢者の対応の充実に取り組む。
 - 1) コミュニケーションを積極的に取り、入居者様が不安を感じることがないように努める。
 2. 入居者の自立支援、機能低下予防に取り組む。
 - 1) 自分で出来る事は無理のない程度にして頂く。
体操や体を動かすことを、楽しんで行えるよう声掛けしていく。
 3. 口腔ケアに取り組む。
 - 1) 口腔内の状態を把握し、個人にあった支援を行いません。
 - 2) 状態に応じて、受診等も考慮します。
 4. 快適な排泄環境に取り組む。
 - 1) プライバシーを尊重した支援を行います。
 5. 褥瘡発生ゼロに取り組む。
 - 1) 高リスクのある方に対しては皮膚の観察を毎日行い、状態にあったケアに務めます。
 - 2) 栄養状態の低下、皮膚のトラブルは早期に発見し、他職種と連携し褥瘡発生を防ぎます。
 6. 介護事故ゼロ(リスクマネジメント)に取り組む
 - 1) ヒヤリハットの段階で予防策をユニット職員で考え、介護事故ゼロに努めます。
5. 居住環境の改善・向上に取り組む。
 1. 入居者様や、面会に来られた家族様が快適に過ごして頂けるよう、居室内の整理、整頓、に気を付けます。
6. 高い専門性を有する人材の育成に取り組む。
 1. OJT、内部研修
積極的に参加し、参加していない職員にも情報を共有します。
 2. 外部研修
専門性を高める為に研修への参加を心掛けます。
7. 家族との関係強化に取り組む。
 1. イベントの参加
面会時には行事等の日時を家族様に伝え、参加して頂けるよう声掛けさせて頂く。

ユニット名 すいせん

1. 研究活動【重点的に取り組むこと】

テーマ 『胃ろうや看取り期の方に対しての生活支援の充実と四季を感じて頂ける取組み』

研究の理由 ①外へ面している居室が多い為環境を活かしていきたい

②胃ろうの方や看取り期の方への生活支援の強化をしたい為

活動の主な内容 ①桜や田んぼや花火など見やすいように窓など綺麗に維持する

②お食事が楽しみな方も多いので食事でも四季を感じる行事食の取組み

③苑の散歩や外出で視覚や触覚でも四季を感じて頂く行事の取組み

④胃ろうの方の安楽な姿勢・離床(クッションや角度)環境作り

(生活に潤い・寂しくないような取組み・寄り添う時間作り)

- 2 ご入居者の人権と尊厳を守るため、身体拘束廃止を強化する。 （全ユニット）
入居者様の尊厳を守る為身体拘束は行わない。安易な拘束に頼る事をせず代替案を考える
職員の意識の向上へ努める
- 3 生活が潤い、心身の健康増進に取り組む。 ※取り組む項目を選択
 1. 園芸
 - 1) ベランダがリビングに近い為季節を感じれるよう見やすい場所に花壇やプランターを配置する
 2. 音楽
 - 1) 歌や音楽が好きな方も多いので音楽の行事の声掛けを行う
 3. 食事（調理含む）
 - 1) 糖尿などの持病を抱えた方が多いので栄養士や看護師と相談しながらユニット調理など行事に取り組む
 4. 行事・外出等の取り組み
 - 1) 胃瘻の方や寝たきりの方も楽しめるよう苑の中でも季節を楽しめる行事（お花や風に触れたり等）や生活に寄り添った外出行事（買い物が好きな方・お食事が好きな方等）の強化
- 4 介護サービスの充実・強化によりケアマネジメントの推進に取り組む。 ※取り組む項目を選択
 1. 認知症高齢者の対応の充実に取り組む。
 - 1) 帰宅願望の方も多いため寂しくならないような声掛けや見守りを行う
 2. 入居者の自立支援、機能低下予防に取り組む。
 - 1) 残存機能を活かし洗濯物たたみや自走など生活の中でのリハビリに取り組み低下を防ぐ
 3. 口腔ケアに取り組む。
 - 1) 歯磨きが苦手な方はうがいだけでもして頂けるよう声掛けをし口腔ケアへの意識向上を高めていく
 4. 快適な排泄環境に取り組む。
 - 1) 排尿量や回数に合ったおむつの変更の検討・陰部洗浄の強化に努める
 5. 褥瘡発生ゼロに取り組む。
 - 1) 正しいクッションの当て方やその方に合ったクッションの見直しや離床時間などの見直しや確認を行い早期発見早期治療を心掛け褥瘡発生ゼロに努める
 6. 介護事故ゼロ（リスクマネジメント）に取り組む
 - 1) 過去に合った事故やヒヤリハットを見直しユニット会議でもその都度危険はないか検討し
同じ事故を起こさない・危険予知にて事故を予防する
- 5 居住環境の改善・向上に取り組む。
 1. 本人が安心して過ごして頂くようなタンスやベッド等配置の取り組みに努める
- 6 高い専門性を有する人材の育成に取り組む。
 1. OJT、内部研修
 - 1) 学んだことを参加した方だけでなく他の職員にも共有しお互いにレベルアップを図る
 2. 外部研修
 職員のスキル向上に繋がるよう職員の意思を尊重し相談しながら研修や資格取得を目指す
- 7 家族との関係強化に取り組む。
 1. カンファレンス出席率向上
 懇談会・面会などを通し普段お生活など随時お伝えし安心して相談していけるような関係を築く
 2. イベントの参加
 イベントへ参加出来ない御家族の方もいるのでその時の様子を写真に収め面会時など居室などその時の様子を確認できるようにする

ユニット名 ひまわり

- 1 研究活動【重点的に取り組むこと】

テーマ	『入居者の気持ちに寄りそうケア』
研究の理由	①入居者の方の思いや気持ちに沿ったケアの充実を図る ②認知症の方への対応を再度みんなで考える
活動の主な内容	①入居者の方が望む生活を送れるよう支援する ③安心した生活を送れるよう生活リズムを導き出す

④落ち着けるような環境作り

2. ご入居者の人権と尊厳を守るため、身体拘束廃止を強化する。 (全ユニット)
身体拘束廃止ができるよう多職種・家族様交えて話し合いを行い身体拘束をしないよう取り組む
言葉や対応などで入居者の方の自由(身体的や精神的)を妨げないようにする
3. 生活が潤い、心身の健康増進に取り組む。 ※取り組む項目を選択
 1. 園芸
 - 1) 土に触れ、野菜や植物を育て収穫する作業を通じて心身の機能の回復や生活の向上を図る
五感を刺激できるようアプローチする
 3. 食事(調理含む)
 - 1) 一人一人に合わせた嗜好や食事形態に合わせ美味しく食事できるよう工夫する
毎月ユニット調理やおやつ作りを行い、食事から季節感を感じてもらえるよう工夫する
 4. 行事・外出等の取り組み
 - 1) 季節応じた外出・行事を入居者の希望に応じた外出行事に取り組む
アクティビティを取り入れレクリエーション等楽しみながら心身機能の維持向上に努める
4. 介護サービスの充実・強化によりケアマネジメントの推進に取り組む。 ※取り組む項目を選択
 1. 中重度の要介護者の対応の充実に取り組む。
 - 1) 看取りケアにおいて、最期まで尊厳ある生活を支援する
多職種と連携を強化しケアの充実を図る
 2. 口腔ケアに取り組む。
 - 1) 一人一人に合わせた口腔ケアを研究・実施し、誤嚥性肺炎予防に努める
 3. 快適な排泄環境に取り組む。
 - 1) 自立支援にむけた排泄用品・一人一人に合わせた排泄の個別ケアの支援を研究・実施する
下剤に頼らない排便コントロールの方法を研究・実施する
 4. 褥瘡発生ゼロに取り組む。
 - 1) 一人ひとりに合わせた正しいポジショニング方法を研究し実施する
褥瘡にならないようスキンケアを行い皮膚トラブルを予防する
5. 居住環境の改善・向上に取り組む。
 1. ユニットのしつらえを工夫し、入居者の方が落ち着ける居住空間を作る
 2. 居室内をなじみのある空間に出来るよう取り組む
6. 高い専門性を有する人材の育成に取り組む。
 1. OJT、内部研修
 - 1) 職員一人ひとりの個性や考えを理解しお互い尊重できる職員にする
内部研修等に積極的に参加しスキルアップを図り職員の能力の向上を図る
7. 家族との関係強化に取り組む。
 1. カンファレンス出席率向上
ケアカンファレンス時には家族様も参加できるよう働きかける
 2. イベントの参加
イベントが行われる際には、家族様に声掛けを行い参加の声かけをする
行事時の様子を写真等で伝え日頃の様子を知ってもらう

ユニット名 すずらん

1. 研究活動【重点的に取り組むこと】

- | | |
|---------|--|
| テーマ | 『認知症の方が気持ちよく笑顔で入浴出来るには』 |
| 研究の理由 | ①大好きなお風呂を、介護拒否によって楽しめない事がよくある。
②娘さんに笑顔を見せて安心して頂きたい。 |
| 活動の主な内容 | ①排便と介護拒否の関係を考える。
②不穏にならない為の対応を考える。
③不穏になってしまった場合、どうしたら気分転換し入浴出来るか考える。
④娘さんと職員がコミュニケーションをとり一緒に最善の方法を考える。 |

- 2 ご入居者の人権と尊厳を守るため、身体拘束廃止を強化する。 (全ユニット)
 1. 身体拘束をせずとも安全に過ごせる方法を考え実行する。
 2. 言葉の拘束もしないと意識付けをする。
- 3 生活が潤い、心身の健康増進に取り組む。 ※取り組む項目を選択
 1. 園芸
 - 1) 農園に行き季節の移り変わりや収穫の喜びを感じて頂けるよう取り組む。
 - 2) 自分で植えた花々が綺麗に咲いていく様子を楽しんで頂けるよう取り組む。
 2. 音楽
 - 1) 音楽を聞き、歌を唄うことで気持ちをリフレッシュ出来るよう取り組む。
 - 2) 皆と一緒に歌を唄う事で輪になり、笑顔が見られるよう取り組む。
 3. 行事・外出等の取り組み
 - 1) 苑の外へ出かける事で季節を感じて頂けるよう取り組む。
 - 2) いつもと違いお店のメニューから好きなものを選んでお食事を楽しんで頂けるよう取り組む。
 - 3) ユニットの中でも身体を動かす時間を設け、運動機能の維持向上に努める。
- 4 介護サービスの充実・強化によりケアマネジメントの推進に取り組む。 ※取り組む項目を選択
 1. 中重度の要介護者の対応の充実に取り組む。
 - 1) 看取りの方が、安心して生活でき、少しでも辛さが軽減できるように取り組む。
 - 2) 看取り期においてご家族の思いを尊重し有意義な時間を持って頂けるよう取り組む。
 2. 認知症高齢者の対応の充実に取り組む。
 - 1) 認知症の方の言葉を傾聴し、心のこもった対応をする。
 - 2) 認知症の方が孤立して寂しさを感じないように寄り添い穏やかな生活を送れるよう取り組む。
 3. 褥瘡発生ゼロに取り組む。
 - 1) 日々の観察をしっかりと行い、褥瘡予防ケア計画に基づき、褥瘡0を目指す。
 - 2) 皮膚の状態の変化にいち早く気づき対処し、褥瘡0を目指す
 4. 介護事故ゼロ（リスクマネジメント）に取り組む
 - 1) いつも心に余裕を持ち慎重なケアを心掛ける。
 - 2) 入居者の体調の変化に合わせた安全なケアを行っていく。
- 5 居住環境の改善・向上に取り組む。
 1. 入居者のお好みのしつらえにして自宅にいるような居住空間を作る。
- 6 高い専門性を有する人材の育成に取り組む。
 1. OJT、内部研修
 - 1) OJTにより、指導する職員も自らのケアを見直す機会とする。
 - 2) 内部研修に積極的に参加し自己啓発に取り組む。
 2. 外部研修
 - 1) 外部研修に積極的に参加し、知識と技術の向上を目指す。
- 7 家族との関係強化に取り組む。
 1. カンファレンス出席率向上
 - 1) ケアプランの更新日や見直し近づいたら面会の際に時間を頂けないか伺っていく。
 - 2) 面会の際に、ご家族の思いを伺いケアプランに反映できるよう取り組む。
 2. イベントの参加
 - 1) ユニット行事カレンダーで、予定をお知らせし参加を呼び掛ける。
 - 2) ご家族と一緒に過ごして頂けるような行事を企画する。

ユニット名 ゆり

1 研究活動【重点的に取り組むこと】

テーマ 『支援内容の統一を図る』

研究の理由 ①人事異動に伴い異動した職員が多く戸惑いが多い

活動の主な内容 ①ユニット会議などでの定期的な情報交換

②検討結果に伴う支援方法の共有

③引き継ぎや情報の徹底

- 2 ご入居者の人権と尊厳を守るため、身体拘束廃止を強化する。 (全ユニット)
人権と尊厳を意識した言動を心がけます。
- 3 生活が潤い、心身の健康増進に取り組む。 ※取り組む項目を選択
 1. 園芸
 - 1) 草木や野菜の生育の観賞・収穫を通し、季節を感じ取る事が出来る支援に取り組みます。
 2. 食事(調理含む)
 - 1) 季節に応じた食材を活用したユニット調理の企画・実行をします。
- 4 介護サービスの充実・強化によりケアマネジメントの推進に取り組む。 ※取り組む項目を選択
 1. 認知症高齢者の対応の充実に取り組む。
 - 1) 精神的に安定し、穏やかに過ごす事が出来るか検討し支援します。
 2. 入居者の自立支援、機能低下予防に取り組む。
 - 1) 残存機能を活かし、職員の都合による支援をしないようにします。
簡単な体操に取り組んで頂く。
 3. 口腔ケアに取り組む。
 - 1) 口腔体操を習慣的に取り組みます。
- 5 居住環境の改善・向上に取り組む。
 1. ベランダを活用し、季節感あふれる設えの工夫をします。
- 6 高い専門性を有する人材の育成に取り組む。
 1. OJT、内部研修
 - 1) 内部研修に積極的に参加し、又不参加者に対しての情報伝達を行ないます。
 2. 外部研修
50時間研修へ派遣します。
- 7 家族との関係強化に取り組む。
 1. カンファレンス出席率向上
更新月が近づいてきた時、面会などで出席の働きかけを行います。
 2. イベントの参加
行事カレンダーを作成し、面会の折りなどに参加の働きかけを行います。

ユニット名 りんごユニット

- 1 研究活動【重点的に取り組むこと】

テーマ	『個別ケア』
研究の理由	①個別ケアの徹底・ケアの質の向上
活動の主な内容	①環境整備を常に心がける ②入居者様の生活の継続ができるよう取り組む ③残存機能を活用し維持していけるよう取り組む
- 2 ご入居者の人権と尊厳を守るため、身体拘束廃止を強化する。 (全ユニット)
職員一人一人が身体拘束0を意識し拘束0を継続する
- 3 生活が潤い、心身の健康増進に取り組む。 ※取り組む項目を選択
 1. 園芸
 - 1) 農園へ出かけ苗植え・収穫等に参加し喜びを感じていただけるよう取り組む
 2. 音楽
 - 1) 懐かしい音楽を聴いて元気になっていただけるよう取り組む
 3. 芸術
 - 1) 苑内美術品にふれ心豊かに生活していただけるよう取り組む
 4. 食事(調理含む)
 - 1) 楽しく味わって食事ができるよう環境作りに努める
 5. 行事・外出等の取り組み
 - 1) 花の咲く季節に外出し季節を感じていただけるよう取り組む」

- 4 介護サービスの充実・強化によりケアマネジメントの推進に取り組む。 ※取り組む項目を選択
1. 認知症高齢者の対応の充実に取り組む。
 - 1) 寄り添った支援を行い穏やかに過ごせるよう努めます
 2. 入居者の自立支援、機能低下予防に取り組む。
 - 1) 残存機能を活かしてできない部分の支援を行います
 3. 口腔ケアに取り組む。
 - 1) その方の状態にあったケアを職員全体で考え支援に努めます
 4. 快適な排泄環境に取り組む。
 - 1) 常に清潔保持できるよう個々の支援に取り組みます
 5. 褥瘡発生ゼロに取り組む。
 - 1) 褥瘡予防のケアに基づき褥瘡発生を防ぎます
 6. 介護事故ゼロ（リスクマネジメント）に取り組む
 - 1) 転倒・転落・事故 常に危険予測し職員全体で事故防止に努めます
- 5 居住環境の改善・向上に取り組む。
1. 入居者様一人一人の状態・状況に合わせた環境の改善に努めます
- 6 高い専門性を有する人材の育成に取り組む。
1. OJT、内部研修
 - 1) 学んだことを職員全体で共有し実践します
 2. 外部研修 医療的ケア（50時間）の研修 認知症実践者研修 ユニットリーダー研修など
 - 1) 積極的に参加しスキルアップを目指します
- 7 家族との関係強化に取り組む。
1. カンファレンス出席率向上

今後のことを家族と一緒に考え寄り添った支援に努める
 2. イベントの参加

一緒に過ごす時間を増やし家族で思い出を共有できるよう努める

ユニット名 ゆず

- 1 研究活動【重点的に取り組むこと】

テーマ 『 新人教育 』

研究の理由 ①新卒者入社に伴い、即戦力として育成するため
 (なぜならば) ②既存職員も原点に立ち返るため

活動の主な内容 ①基本的な介護知識の教育
 ②社会人としての心構え
 ③エルダー職員と協力・連携していく
 ④報・連・相の徹底
 ⑤多職種との連携を教育
- 2 ご入居者の人権と尊厳を守るため、身体拘束廃止を強化する。 (全ユニット)
 - ・安易な身体拘束はせず、そうならない為の方策を考察する
 - ・委員会に必ず参加し、知識の共有をしていく
- 3 生活が潤い、心身の健康増進に取り組む。 ※取り組む項目を選択
 1. 音楽
 - 1) 歌の好きな入居者の方が多いため、定期的にカラオケを催す
 2. 食事（調理含む）
 - 1) 入居者の嗜好などを聞きながら、ユニット内調理・外食を企画する
 3. 行事・外出等の取り組み
 - 1) 季節にあった場所や、イベントなどに外出する
- 4 介護サービスの充実・強化によりケアマネジメントの推進に取り組む。 ※取り組む項目を選択
 1. 中重度の要介護者の対応の充実に取り組む。
 - 1) 褥瘡発生予防を重点的に考察・実践していく

2. 入居者の自立支援、機能低下予防に取り組む。
 - 1) 必要以上に手を出しすぎないようにする（見守る介護）
4. 口腔ケアに取り組む。
 - 1) 口腔ケア困難な方に対してのケアを衛生指導を下に対応する
5. 快適な排泄環境に取り組む。
 - 1) 尿路感染症の予防を徹底していく
6. 褥瘡発生ゼロに取り組む。
 - 1) その方その方にあった介護用品や姿勢を考察する
7. 介護事故ゼロ（リスクマネジメント）に取り組む
 - 1) 転倒リスクが高い方への、予防・環境整備などを重点的に行う。
- 5 高い専門性を有する人財の育成に取り組む。
 1. 外部研修
 - 1) 認知症実践者研修

【 短期入所生活介護（ショートステイ） 】

ユニット もも

- 1 研究活動【重点的に取り組むこと】

テーマ	『居心地の良い空間づくり』
研究の理由	①ご利用者様がまた利用したくなる様なユニットを提供するため ②ショートご利用者様は、帰宅願望訴えが強い方が多い。少しでも、心配なく気楽に過ごせる空間を研究し、提供する
活動の主な内容	①自宅のような居室作り ②ゆったり過ごせるリビング作り ③リビングに座りやすいソファ・椅子を置き、テーブルの高さは検討し、使いやすくする ④観葉植物、季節のお花を飾る
- 2 ご入居者の人権と尊厳を守るため、身体拘束廃止を強化する。 （全ユニット）
 - ①スピーチロックを行わないよう、その都度ご利用者様の訴えに耳を傾ける
- 3 生活が潤い、心身の健康増進に取り組む。 ※取り組む項目を選択
 1. 園芸
 - 1) 季節のお花をベランダで育てる
 - 2) 水やり等手伝って頂き、育つ過程も楽しんで頂く
 2. 音楽
 - 1) 好みの音楽・アーティストのCDを流し、気分転換を図る
 3. 芸術
 - 1) 外出等で美術館外出を計画し、芸術に触れる機会を提供する
 4. 食事（調理含む）
 - 1) 献立の説明をしながら食事を提供し、理解したうえで召し上がって頂く
 - 2) 2～3カ月に一度ユニット調理を行う
 5. 行事・外出等の取り組み
 - 1) 1～2カ月に一度は行事計画を立て、ご利用者様の行きたい場所へ外出する機会を作る
 - 2) 苑内行事は、ユニット職員も一緒に参加する
- 4 介護サービスの充実・強化によりケアマネジメントの推進に取り組む。 ※取り組む項目を選択
 2. 認知症高齢者の対応の充実に取り組む。
 - 1) 訴えに否定せず、都度傾聴する
 - 2) 職員が近くで寄り添う
 3. 入居者の自立支援、機能低下予防に取り組む。
 - 1) 歩行訓練、体操等に取り組んで頂く
 4. 口腔ケアに取り組む。
 - 1) 日々の口腔ケアの声掛け、支援に取り組む

- 2) 毎日嚙下体操を行い、誤嚥防止に努める
- 5. 快適な排泄環境に取り組む。
 - 1) 自然排便で苦痛なく排便できるよう、1人1人の排便コントロール行う
 - 2) 汚染時は素早く取り換える等、苦痛を軽減する
- 6. 褥瘡発生ゼロに取り組む。
 - 1) 褥瘡発生高リスク者をリストアップし、マットやクッション等を検討する
- 7. 介護事故ゼロ（リスクマネジメント）に取り組む
 - 1) センサーマット使用者が多いため、電源の付け忘れに注意する
 - 2) 誤薬等が無いように、薬の管理を徹底する
- 5 居住環境の改善・向上に取り組む。
 - 1. ご利用者様の意見を聞きながら、使いにくい物は素早く改善する
 - 2・暖房、冷房の使用をしながら、日々の気温に合わせた温度管理に努める

ユニット名 あんず

- 1 研究活動【重点的に取り組むこと】
 - テーマ 『外出・外食行事の充実』
 - 研究の理由 ①希望時や季節毎の外出・外食行事を企画することで、生活の活性化を図る
②外出や外食行事を企画し定期化することで、他事業所との差別化を図る
 - 活動の主な内容 ①毎月、利用者の方に希望や要望を確認し、外出の企画をたてる
②必ず月に一回は外出や外食の企画をたて、実施する
- 2 ご入居者の人権と尊厳を守るため、身体拘束廃止を強化する。（全ユニット）
ショートスティにて身体拘束が検討される利用者がおられた場合
 - ①施設長を含めユニット内で意識の統一を図る。
 - ②緊急性の有無や、代替するケアの方法はないかしっかり話し合う。
 - ③どうしても身体拘束が必要と判断された時には、しっかり記録をする。
 - ④身体拘束の緩和について随時、ユニット内で話し合いを行なっていく。
- 3 生活が潤い、心身の健康増進に取り組む。 ※取り組む項目を選択
 1. 園芸
 - 1) テラスにて植物を置き、鑑賞したり、育てたりして頂く
 2. 食事（調理含む）
 - 1) 定期的に利用者の希望、要望を確認してユニット調理の企画をたてる
 3. 行事・外出等の取り組み
 - 1) 毎月、利用者の方に希望や要望を確認し、外出の企画をたてる
 - 2) 必ず月に一回は外出や外食の企画をたて、実施する
- 4 介護サービスの充実・強化によりケアマネジメントの推進に取り組む。 ※取り組む項目を選択
 1. 認知症高齢者の対応の充実に取り組む。
 - 1) ユニット会議にて認知症利用者の方に対するケアを話し合い、より良い関わり方を模索し、ケアの統一を図る
 2. 入居者の自立支援、機能低下予防に取り組む。
 - 1) 個々の能力を見極め、尊厳を持った声掛け、関わり方を意識し、出来る事は自分でしてもらうように支援する
 3. 褥瘡発生ゼロに取り組む。
 - 1) 褥瘡発生に注意する利用者については、よく観察を行ない、早期予防、早期発見に努める
 4. 介護事故ゼロ（リスクマネジメント）に取り組む
 - 1) 転倒の恐れが有る方に対してはセンサーマットやタッチアップの使用を検討し
転倒防止できるような環境改善に努める
- 5 居住環境の改善・向上に取り組む。
 1. 事前情報やアセスメントを確認し、利用者個別に合わせた居室内の環境づくりを継続していく

- 6 高い専門性を有する人財の育成に取り組む。
 1. OJT、内部研修
 - 1) 出来たら認知症対応や介護技術などの研修をユニット内で行なえるよう検討する
 2. 外部研修

各職員が資質向上を目指し資格の取得を目指し自己研鑽に努める
- 7 家族との関係強化に取り組む。
 1. カンファレンス出席率向上 出来る限り担当者会議などは現場の職員の参加も目指す

【 生活相談員 】

1. 地域包括ケアシステムを推進するために地域包括支援センター等と連携する。
 - 1) 中重度の要介護者や認知症高齢者等となっても在宅の生活を継続できるように支援する。
 - (1) 地域の社会的弱者、介護困難等の相談を受け、関係機関との連携を行う。
 - (2) 入所指針に基づいて緊急性、地域性に配慮して入居をすすめる。
 - 2) 地域包括支援センター、居宅介護支援事業所等と密接な連携に取り組む。
 - (1) 文殊地区等で開催される「地域ケア会議」に参加する。
 - (2) 居宅介護支援事業所等が開催する「サービス担当者会議等」に参加する。
 - 3) 東足羽地区（文殊地区）、麻生津地区の住民との交流に取り組む。
 - (1) 地域の行事に参加し地域住民との交流に取り組む。 文殊地区敬老会等
 - (2) イベントに地域の高齢者を招き、入居者等との交流に取り組む。 秋祭り、演芸会等
2. 健康で豊かな生活を支援する。
 - 1) 生活に潤いを与え、心身の健康増進に取り組む。
 - (1) 園芸療法 季節ごとに野菜等の植付け、生育、収穫、調理、味わう楽しみを提供する。
 - (2) 音楽療法 年4回行う。京都音楽学院の指導を受ける。
 - (3) 芸術鑑賞療法 廊下、地域交流センター等に掲示する。
 - 2) 介護サービスの充実・強化に取り組む。
 - (1) 中重度の要介護者に対して支援内容を充実させる。
 - (2) 認知症高齢者への対応を更に強化をする。
 - (3) 看取り期における対応、支援内容を充実する。
 - (4) 口腔・栄養管理に係る取り組みを充実する。歯科医師、歯科衛生士、管理栄養士等との連携。
 - 3) 科学的介護の研究・実践に取り組む。
 - (1) おむつゼロ 排泄の自立、自然排便に向けた支援を研究し実践します。
 - (2) 骨折ゼロ 安全、安心な生活につながる支援を研修し実践します。目標 骨折ゼロ
 - (3) 身体拘束ゼロ 入居者の人権と尊厳を守り身体拘束廃止を強化する。目標 身体拘束ゼロ
 - (4) 褥瘡ゼロ 栄養マネジメント、安楽な姿勢、介護用品等を研究し実践します。
 - 4) ユニットケアの介護手法を更に推進する。
 - (1) 環境作りを家庭生活の延長に沿ったしつらえに取り組む。
 - ①公共的空間 廊下 くつろげるスペースをつくる。
 - ②個人的空間 リビング、談話コーナーのしつらえを見直す。
 - (2) 馴染みの関係作りを深められるコミュニケーションに取り組む。
3. 家族との関係強化に取り組む。
 - 1) 家族との懇談会を年2回取り組む。 5月、11月
 - 2) 家族との交流を積極的に取り組む。
 - (1) 帰省の支援に取り組む ①お盆 ②年末年始
 - (2) イベントの参加を支援する。①ユニット行事等 ②全体行事
 - 3) 生活支援の満足度調査を行う。
4. 地域福祉の向上に取り組む。
 - 1) ボランティア活動を支援し、積極的に受け入れる。
 - ①演芸ボランティア ②喫茶ボランティア ③生活支援ボランティア（サマーボランティア等）

2) 保育園の園児、小学校の児童、中学校の生徒との交流に取り組む。

文殊保育園（7月）、文殊小学校（10月）、足羽中学校（11月）、足羽第一中学校（11月）

3) 地域の農協婦人部、子ども会などとの交流に取り組む。8月頃

4) 介護資格等を養成する教育機関と連携する。（介護実習生の受け入れ）

（1）介護福祉士の養成校。福井医療福祉専門学校

（2）介護職員初任者研修の養成校。福井医療福祉専門学校、ニチイ学館、大原学院等

【 看護部門 】

1 研究活動【重点的に取り組むこと】

テーマ 『多職種との連携を密にする』

研究の理由 1) 入居者様が、安心安全に生活して頂くには、情報を共有し話し合いを持つ必要がある

活動の主な内容 1) 月1回のユニット会議には必ず出席し多職種との連携を密にする

2) 看取りケアの充実を図る

（1）入居者様、ご家族の意向を最大限に尊重する

①家族様を含めた看取りカンファレンスを行う

②多職種と情報を共有する

③心身の状態に応じたケアを行う

④入居者様が安らぐ環境調整を行う

（2）身体的、精神的苦痛の緩和に努める

①嘱託医に状態を報告し、酸素療法、点滴等を適切に行う

2 介護サービスの充実・強化によりケアマネジメントの推進に取り組む。

1. 中重度の要介護者の対応の充実に取り組む。

1) 医療の質の向上に努める

（1）異常を早期に発見する

①日頃の状態をしっかり観察する

②医師に報告する時のポイントを把握し、臨床経過を明確に報告し指示を得る

③限られた医療設備の中での医療行為を安全かつ正確に行う

2) 医療機関、嘱託医、多職種、ご家族との連携を密にする

（1）入居者様の情報を（病状、経過、内服等）正確に報告する

（2）看護職員が受診付添いしない時は、付添い者に医療機関受診票の記載内容を口頭でも伝える

（3）受診結果（診断名、検査結果、今後の注意点等）を把握し、嘱託医、多職種、ご家族様に報告し連携を図る

3) 喀痰吸引、胃ろうの対応に取り組む

（1）喀痰吸引等の、医療的ケアについて生活支援職員と連携する。

（2）生活支援職員の医療的ケアの対応を支援する

①生活記録、医療的ケア日誌等で確認する

②生活支援職員からの相談、連絡等は、迅速に対応する

（3）外部研修会に指導者として参加し自己研鑽に努め

2. 医療事故ゼロ（リスクマネジメント）に取り組む

1) 誤薬発生ゼロに取り組む

（1）医療マニュアルの見直しをする

（2）看護職員、生活支援職員による二重チェックを徹底する

（3）生活支援職員の指導をする

3 高い専門性を有する人材の育成に取り組む。

1. 内部研修

1) 施設内研修を企画、実施する

（1）生活支援職員等と医療的ケアの連携に取り組む

①新人職員の医療研修

- ②中途採用者の医療研修
- ③喀痰吸引等のフォローアップ研修
- ④夜間急変時の研修
- ⑤喀痰吸引等の50時間実地研修

2. 外部研修

- 1) 看護職員としての資質向上に努める
 - (1) 外部研修は、年2回以上参加する

【 調理部門 】

1 研究活動【重点的に取り組むこと】

テーマ 『 真空調理を活用する 』

- 研究の理由 ①作業の合理化をはかるため
 ②経験や勘による技術を数値化することでマニュアル化ができるため
- 活動の主な内容 ①研究テーマについて全員で取り組む
 ②適切な食事の提供（栄養管理）
 ③季節感のある、楽しみを感じられる食事の提供（給食管理）
 ④感染症や食中毒の発生防止（衛生管理）
 ⑤内部・外部研修への参加（人財育成）

2 食事（調理含む）

- 1) 出前調理に出向き、入居者の方と一緒に食事づくりを行う
- 2) 食事委員会と協同し、お楽しみメニューを充実させる。

3 褥瘡発生ゼロに取り組む。

- 1) 他職種と情報を共有し、高リスクの方に対して栄養面から早期に対応し、褥瘡発生を未然に防ぐ。

4 外部研修

- 1) 食中毒、ノロウイルス、調理機器を使った新たな調理方法についてなど。

【 デイサービスセンター 】

1 適正に事業を運営する(数値目標)

- 1) 利用率目標 90% (利用定員 35人)
 - ① 居宅介護支援事業所(ケアマネージャー)との信頼関係の構築
 - ② 利用者、家族の要望に柔軟に対応する

2 健康で豊かな生活を支援する

1) 利用者の自己決定と共に、利用者主体のサービスの実施

- (1)一人ひとりの個別支援の提供工夫を行なう
- (2)生活機能、残存機能を生かした支援を行なう
- (3)誕生月のお祝いの工夫

2) 環境の改善・向上に取り組む

- (1)安心して過ごせる居場所、休息出来る場所を提供する
- (2)整理整頓、清掃にて清潔な空間作りを行なう
- (3)壁画やレクリエーションの工夫にて創作意欲を高める取り組みを行なう

3) 環境作り

- (1)多目的ホールでの理学療法士や看護師のリハビリができる空間作り。
- (2)清掃がしっかりとできていて、清潔なフローア作りを取り組む。
- (3)今までベットの必要でなかった方々が、ベットを要望するようになり、要望に応じられるようにベット・ソファを配置する。

3 専門職としての人財育成に取り組む

- 1) 個々の役割に応じた研修に参加する

- 2) 情報収集により自己啓発しスキルをあげる
- 4 家族との関係強化に取り組む
 - 1) 情報の共有の徹底
 - (1) 送迎時における連絡の徹底
 - (2) 個人ノート、ファイル袋の活用
 - (3) 職員間の申し送り 報連相
 - 2) 担当者会議への出席率向上

【 居宅介護支援事業所 】

1. 数値目標

- 1) 登録利用者 目標55人

(1) 東足羽地区、麻生津地区等の医療福祉関係者と連携し、利用者様の獲得に取り組む。

① 医療機関

② 地域包括支援センター

③ 地域の福祉関係者等

2) 介護保険制度の動向や圏域の福祉情勢を把握する。

(1) 事業の検討及び改善に努める。

3) 関係機関との連携を強化し、事業所運営の安定に努める。

4) 利用者様及び地域に選ばれる事業所を目指す。

2. 基本的な取り組み

1) 利用者様の権利を守り、利用者様主体の姿勢で取り組む。

2) 利用者様の自立した日常生活の支援を効果的に行う。

① 利用者様の心身やご家族の状況に応じて継続的かつ計画的にサービスの利用を行う。

③ 地域包括支援センター・医療機関・民生委員・福祉委員等との連携を密にし、居宅支援の拠点となるように働きかける。

3) 事業所の円滑化を図る

① 福井市介護保険課等との連携を行う。

② 介護保険サービス事業所との連携を強化します。

4) 利用者様のニーズを的確にとらえる。

① 自立支援と重度化予防の視点を持ちケアマネジメントを行う。

3. 専門職として資質の向上

1) 内部、外部研修

(1) 現任研修及びその他の研修に参加する。

(2) 研修により情報収集、自己研鑽を図る。

2) 自己研鑽を行う。

3) 専門性の向上

(1) 居宅サービス計画書の作成能力を高めるように努める。

(2) ケアマネジメント技術を高める。

(3) 自己評価を行い、業務及びサービスの改善に取り組む。